

平成30年度「県民Webアンケート」 第10回 国産生薬・単味生薬に関する意識調査

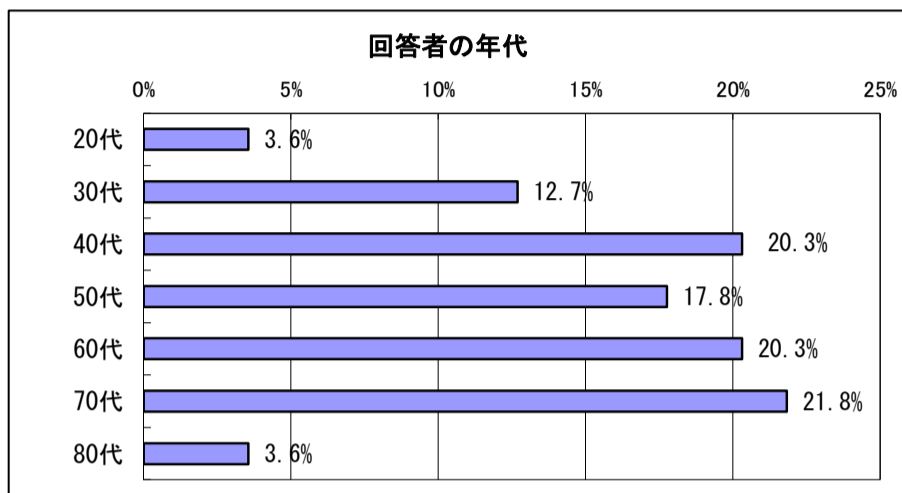
○実施期間 2018/11/8~2018/11/14

○アンケート会員数 228人 回収数 197件 (回収率 86.4%)

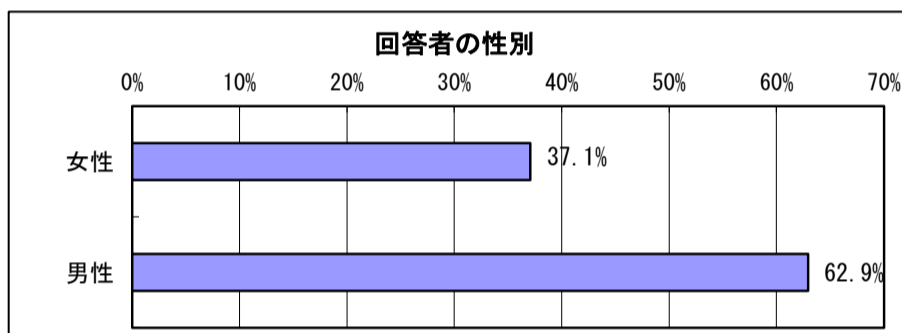
○本アンケートは、漢方のメッカ推進プロジェクトにおいて、進めている国産生薬栽培の推進、単味生薬製剤の開発に際し、生薬の認知度や、皆さんが悩んでいる症状等をお聞きし、今後のプロジェクトに反映するために実施します。

なお、昨年度も同一テーマ名で実施しておりますが、新たな生薬製剤の開発を検討するため、お聞きするものです。

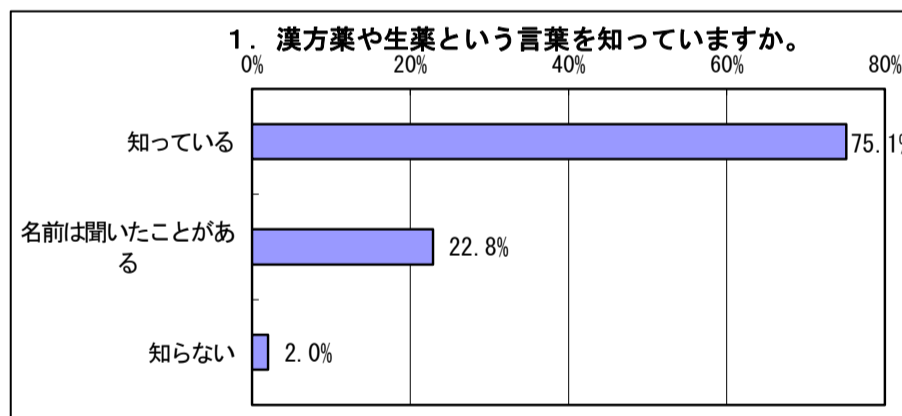
回答者の年代	回答数	比率
20代	7	3.6%
30代	25	12.7%
40代	40	20.3%
50代	35	17.8%
60代	40	20.3%
70代	43	21.8%
80代	7	3.6%
総計	197	100.0%



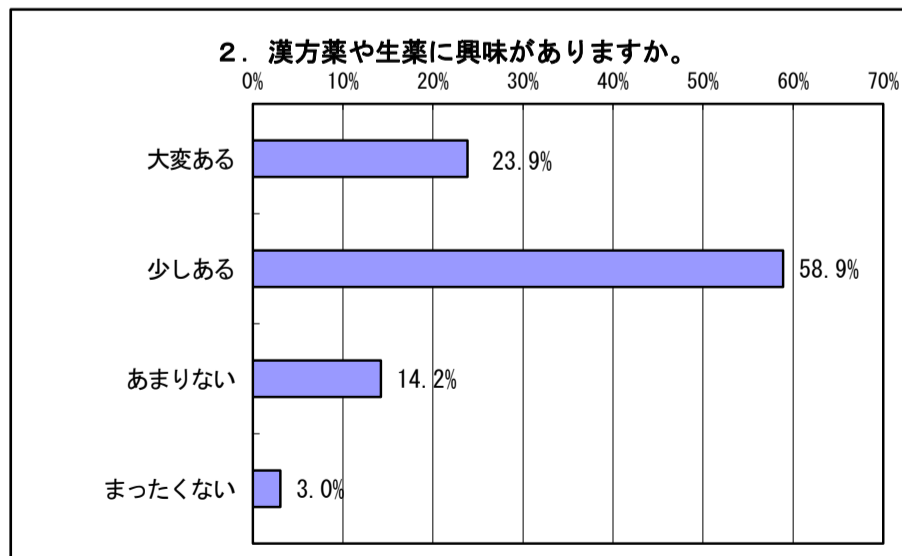
回答者の性別	回答数	比率
女性	73	37.1%
男性	124	62.9%
総計	197	100.0%



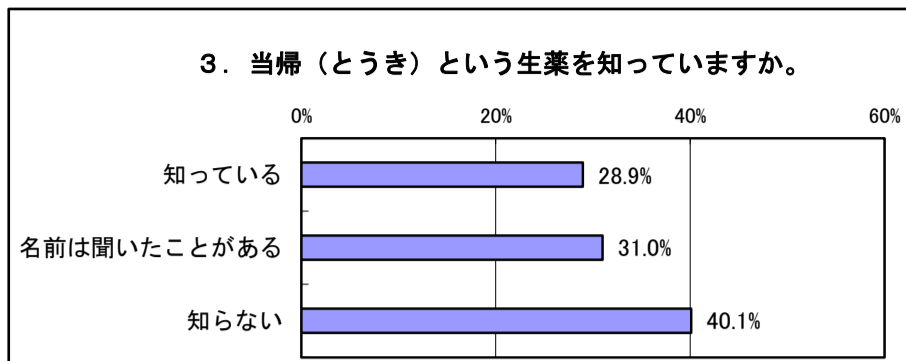
1. 漢方薬や生薬という言葉を知っていますか。 ※生薬とは、薬用植物を加工してできた薬です。	回答数	回答対象者	比率
知っている	148	197	75.1%
名前は聞いたことがある	45		22.8%
知らない	4		2.0%
総計	197		100.0%



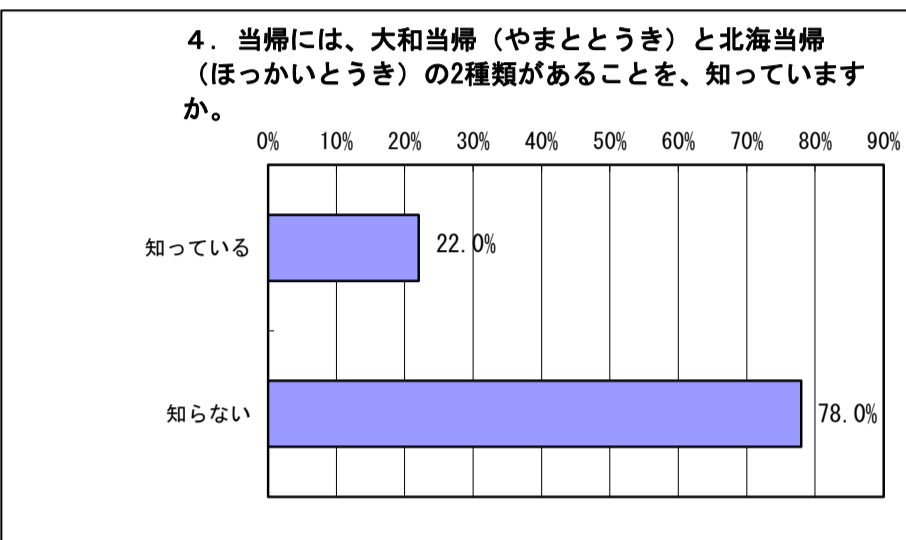
2. 漢方薬や生薬に興味がありますか。	回答数	回答対象者	比率
大変ある	47	197	23.9%
少しある	116		58.9%
あまりない	28		14.2%
まったくない	6		3.0%
総計	197		100.0%



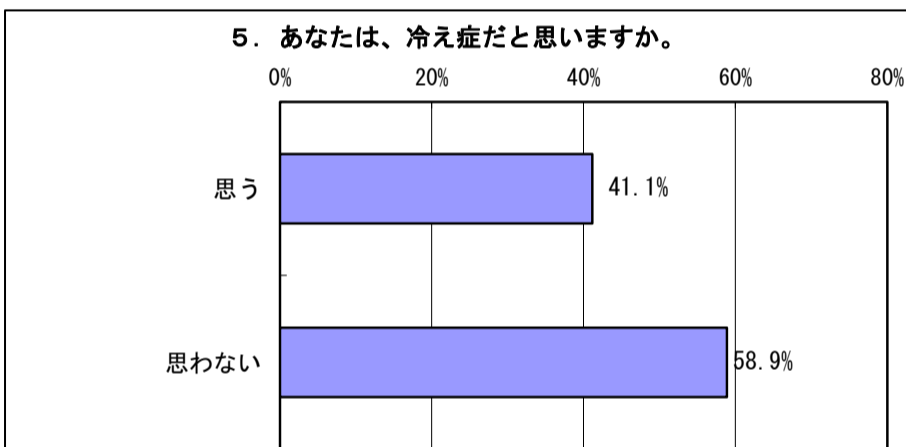
3. 当帰(とうき)という生薬を知っていますか。 →この設問(Q3)で、「1. 知っている」又は「2. 名前は聞いたことがある」を選択された方はQ4へ、「3. 知らない」を選択された方はQ5へ	回答数	回答対象者	比率
知っている	57	197	28.9%
名前は聞いたことがある	61		31.0%
知らない	79		40.1%
総計	197		100.0%



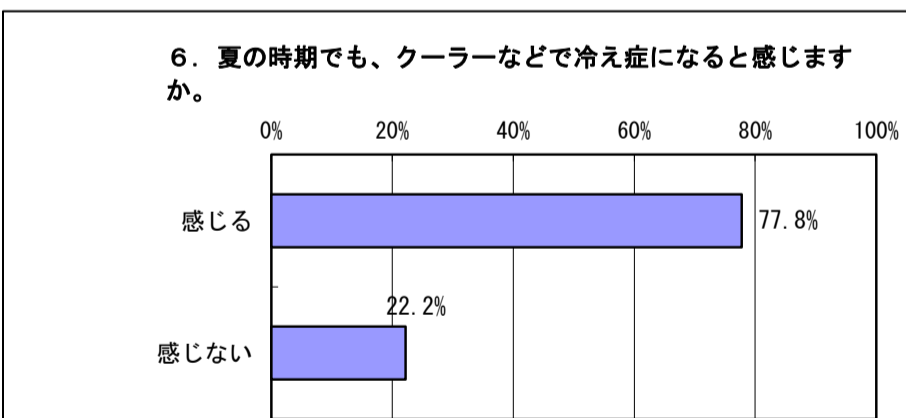
4. Q3で「1. 知っている」又は「2. 名前は聞いたことがある」を選択された方にお聞きます。当帰には、大和当帰(やまととうき)と北海当帰(ほっかいとうき)の2種類があることを、知っていますか。	回答数	回答対象者	比率
知っている	26	118	22.0%
知らない	92		78.0%
総計	118		100.0%



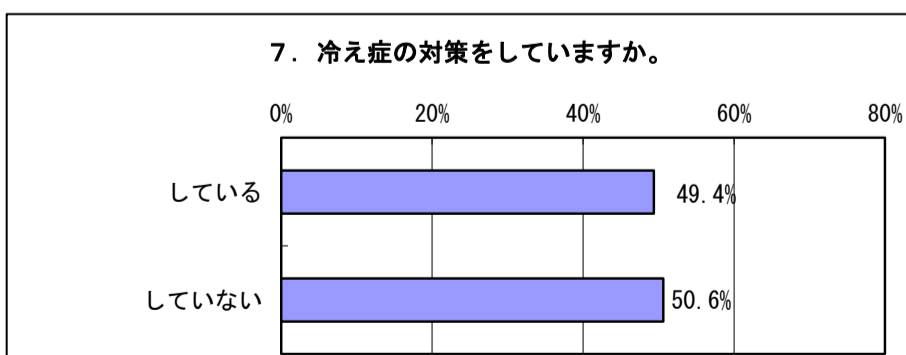
5. あなたは、冷え症だと思いますか。 →この設問(Q5)で、「1. 思う」を選択された方はQ6へ、「2. 思わない」を選択された方はQ10へ	回答数	回答対象者	比率
思う	81	197	41.1%
思わない	116		58.9%
総計	197		100.0%



6. Q5で「1. 思う」を選択された方にお聞きます。夏の時期でも、クーラーなどで冷え症になると感じますか。	回答数	回答対象者	比率
感じる	63	81	77.8%
感じない	18		22.2%
総計	81		100.0%

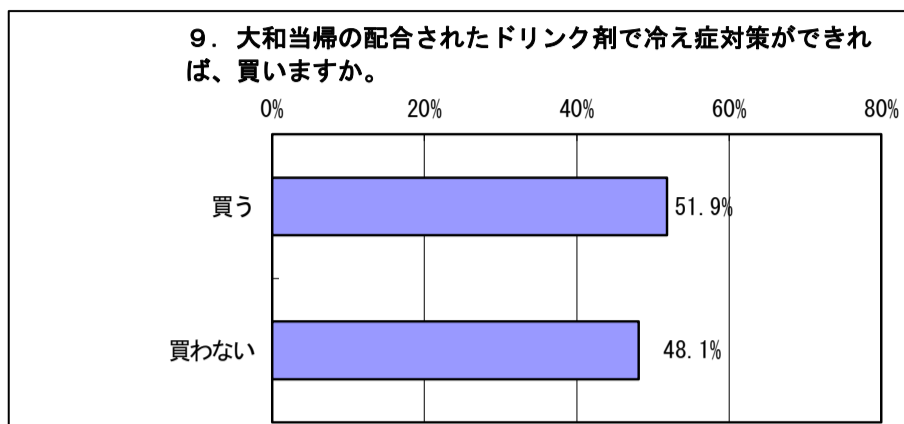


7. Q5で「1. 思う」を選択された方にお聞きます。冷え症の対策をしていますか。 →この設問(Q7)で「1. している」を選択された方はQ8へ、「2. していない」を選択された方はQ9へ	回答数	回答対象者	比率
している	40	81	49.4%
していない	41		50.6%
総計	81		100.0%

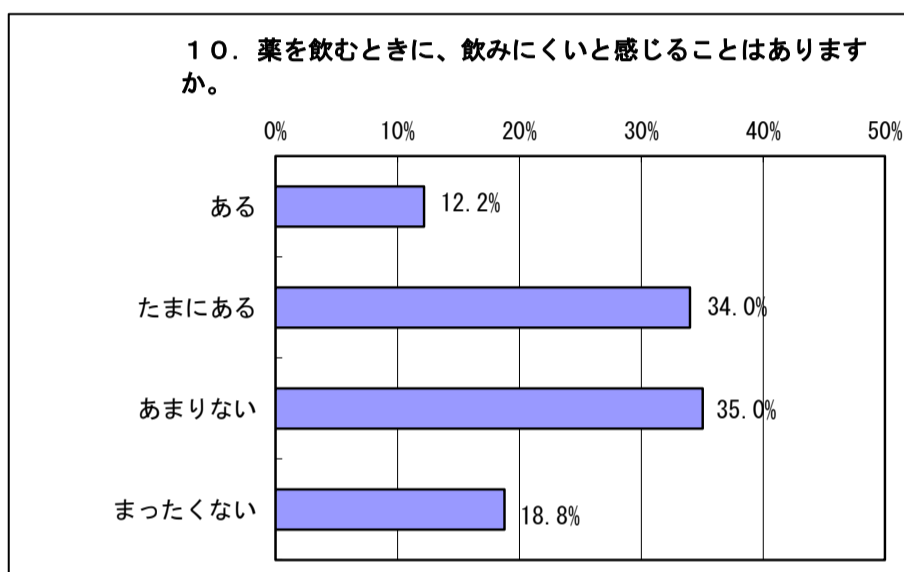


8. Q7で「1. している」を選択された方にお聞きします。 冷え症の対策としてどのようなことをされていますか。	回答数	回答対象者	比率
対策等	40	—	—

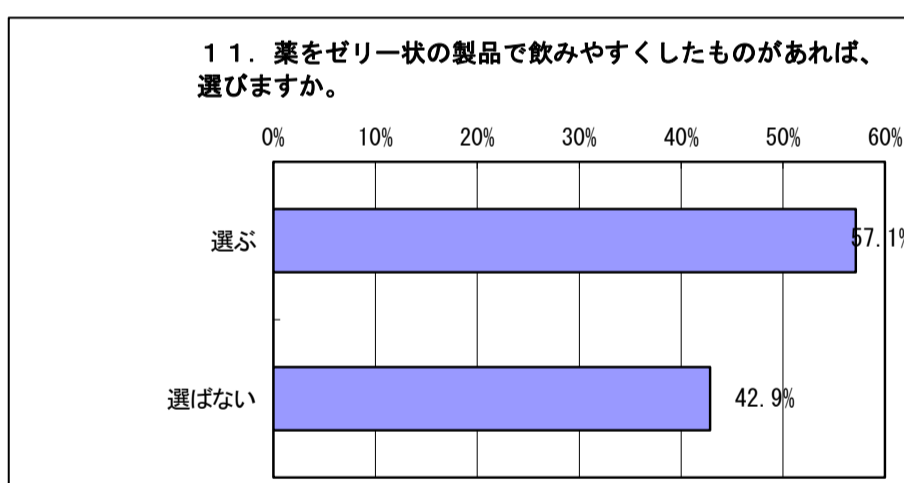
9. Q5で「1. 思う」を選択された方にお聞きします。 大和当帰の配合されたドリンク剤で冷え症対策ができれば、買いますか。	回答数	回答対象者	比率
買う	42	81	51.9%
買わない	39		48.1%
総計	81		100.0%



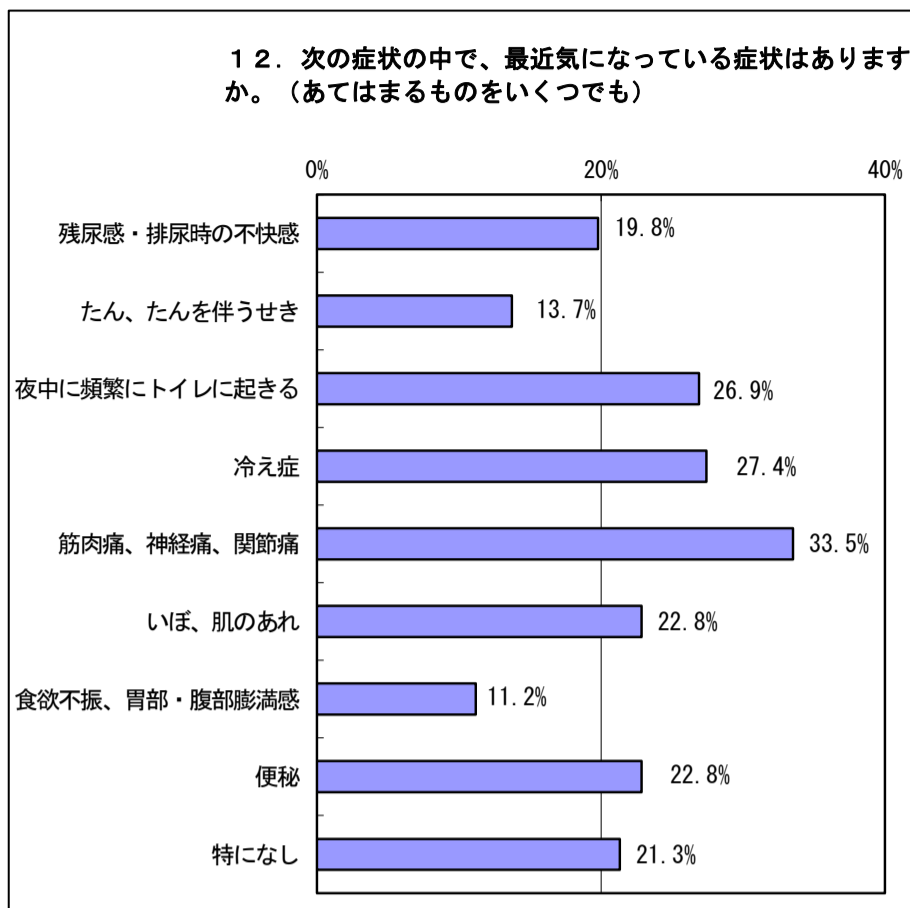
10. 薬を飲むときに、飲みにくいと感じることはありますか。 →この設問(Q10)で、「1. ある」又は「2. たまにある」を選択された方はQ11へ それ以外を選択された方はQ12へ	回答数	回答対象者	比率
ある	24	197	12.2%
たまにある	67		34.0%
あまりない	69		35.0%
まったくない	37		18.8%
総計	197		100.0%



11. Q10で「1. ある」又は「2. たまにある」を選択された方にお聞きします。 薬をゼリー状の製品で飲みやすくしたものがあれば、選びますか。	回答数	回答対象者	比率
選ぶ	52	91	57.1%
選ばない	39		42.9%
総計	91		100.0%



12. 次の症状の中で、最近気になっている症状はありますか。(あてはまるものをいくつかでも)	回答数	回答対象者	比率
残尿感・排尿時の不快感	39	197	19.8%
たん、たんを伴うせき	27		13.7%
夜中に頻繁にトイレに起きる	53		26.9%
冷え症	54		27.4%
筋肉痛、神経痛、関節痛	66		33.5%
いぼ、肌のあれ	45		22.8%
食欲不振、胃部・腹部膨満感	22		11.2%
便秘	45		22.8%
特になし	42		21.3%
総計	393		—



13. 今後、「奈良県の漢方のメッカ推進プロジェクト」に期待することや、国内での生薬栽培の推進について、ご意見やご要望を自由にお書きください。(任意回答) ※「奈良県の漢方のメッカ推進プロジェクト」とは、生薬や漢方などの六次産業化を目指し、部局横断的に取り組んでいるプロジェクトのことです。	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	86	—	—

(一部抜粋)

知らない人が多いと感じますので、もっとPRをして広めてほしい。

薬の歴史は古いのに、知名度が低いことを残念に思っているので、プロジェクトを通して全国的に有名になることや、問12のような困りごとに有効な、来る漢方の開発が進むことを期待しています。

奈良県の高取町や洞川温泉など、昔から漢方薬が有名だったと聞いていますが、最近になって奈良県の取り組みの成果もあってか、少しずつ浸透しつつあるように感じます。漢方薬の元である生薬を栽培する一次産業、薬として製造する二次産業、また、漢方薬の販売や、漢方薬を使ったレストランなどの観光といった三次産業、そしてこれらのコラボレーションという六次産業化はとても大切な取り組みだと考えます。高取町や洞川温泉などだけにとどまらず、吉野地域、奈良県南部地域の観光へと結び付くと思います。この取り組みは今後益々広げていただいて、漢方薬と言えば奈良県と言われるようになり、それを求めて、海外からも観光客がやって来たり、世界中へ輸出していくことになれば、裾野がもっともっと広がるのではないかと思います。期待しています。宜しくお願いします。